



TNR活動者の留意事項



1. トラブルの火種を作らない

- ・TNR活動の説明を行う際には、一方的な講義ではなく会話することを心がけましょう。
- ・TNR活動への批判でも、苦情者の話を辛抱強く聴くことが大切です。
- ・苦情内容は、市へ連絡しましょう。
- ・苦情者に反論するなどして、逆上させることがないようにして下さい。

2. 地域からの信頼を得る

- ・TNR活動は、地域からの理解を得ないことには始まりません。
- ・TNR活動が理解されるよう、まずは活動者の人柄を信用してもらいましょう。
- ・地域の方ともめてしまうと、地域全体の理解や協力が得られなくなります。
- ・活動者の行い次第で、地域の猫が好かれるか嫌われるかが決まります。
- ・猫にとっても地域の方にとっても住みやすい地域づくりを目指しましょう。

3. 動物愛護と人間生活とのバランスを大切にする

- ・動物愛護は、人との共存の上に成り立っています。
- ・動物愛護に偏りすぎると、地域の方の理解は得られません。
- ・地域の方の不満にも共感し、配慮することが大切です。



4. 他の人の活動を批判・否定しない

- ・動物愛護活動の正解は、無数にあります。
- ・動物愛護活動は、人から強制されて行うものではありません。自分の許容範囲で行いましょう。
- ・活動者同士が争うと、一般の方はどんどん離れていきます。

5. TNR活動の公共性の説明は市に任せる

- ・活動が地域のためになることを活動者自身で説明すると、逆に理解が得づらいこともありますので、活動の公共性の説明は市に任せましょう。